

熊本聖書フォーラム

洗礼準備会

- 第1回 2020年4月12日 10:30 洗礼とキリストの弟子
第2回 2020年5月10日 10:30 洗礼が象徴する5つのこと
第3回 2020年6月14日 10:30 質疑応答 証し文の内容確認

洗礼式の日程（オンライン同時配信）

- 7月12日（日） 13:30
- 7月26日（日） 13:30

受洗者は、白っぽいTシャツなどを着用ください。

鼻と口を押えて水を飲まないようにするため、

ハンカチを一枚ご用意ください。

受洗者は、仰向けに全身、水に浸かります。

1、2と数えて、3で水から上がります。

質問① 信仰と科学

証拠（エビデンス）＝複数の証言や一次資料を積み重ねて、記事を書くことを仕事としてきました。

イエスさまを信仰するということと、科学と、どう折り合いをつけたらよいのでしょうか？

自然科学、社会科学、人文科学いずれもキリスト教的価値観が土台となった欧米を中心に発達してきました。

そこには「神の似姿」たる人間の成り立ちを探ることで、神に近づきたいという根源的欲求があったように思います。

質問① 信仰と科学（続き）

進化論や化石から判断した古生物学などもその探究の中から出てきたと思うのですが、聖書に書かれていることと、進化論などが説く世界観とは違うように思われます。皆さんは、どう折り合いをつけておられるのですか。

回答① 信仰と科学 聖書の信頼性

- 証拠（エビデンス）＝複数の証言や一次資料を積み重ねることで、真実を伝えるという点では、聖書はまさにそのとおりの書物です。
- 旧約聖書はメシアについて預言し、その通りにイエスが登場し、メシアとしてのみわざを行いました。
- イエスの生涯とその死・葬り・復活について、4人の記者が福音書を残しました。3人はイエスの証人でした。ルカは、歴史家的観点から、証言や一次資料を収集して書きました（ルカ1：1～4、使徒1：1～3）。

回答① 信仰と科学 天地創造

- 聖書の客観的信頼性を土台として、信者は、創世記1章から2章の天地創造と人の成り立ちの記事を、その通りに受けとります。
- ヘブル11：2 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。
- 進化論やビックバン理論は、神の存在と神による天地創造を否定する立場からの仮説であると考えます。

回答① 信仰と科学 年代測定

- 進化論によらず、神による天地創造を認めるとしても、化石などの年代測定によると、地球の歴史は聖書が教える数千年の時間よりも、はるかに長いのではないか。
- 科学的な探究は尊重されるべきです。しかし、年代測定などの科学的手法も完全なものではありません。科学者も神に対して謙遜な態度が必要です。
- 救いに至る信仰の内容は、福音の3要素です。この信仰に立つ限り、地球の年代を長いと考えても信者です。

質問② 神を表す呼び方

神を表す呼び方は様々あります。どのようなルールで呼び分ければよいのでしょうか？

- 神
- 主
- イエス・キリスト
- 聖霊
- 父なる神

回答② 神を表す呼び方・旧約聖書

ヘブル語聖書（旧約聖書）では、神の名は、基本的に次の3つです。

1. YHVH または YHWH → 主
「わたしは ある」（創3：14）
2. エル、エロアー、エロヒム → 神 GOD
強い・能力ある 偶像の神々にも使う god, gods
3. アドン、アドナイ → 主 Lord, LORD
裁く・支配する 人にも使う 主人 master, owner

回答② 神を表す呼び方・新約聖書

新約聖書でも、神の名は、基本的に次の3つです。ヘブル語の3つに対応しています。

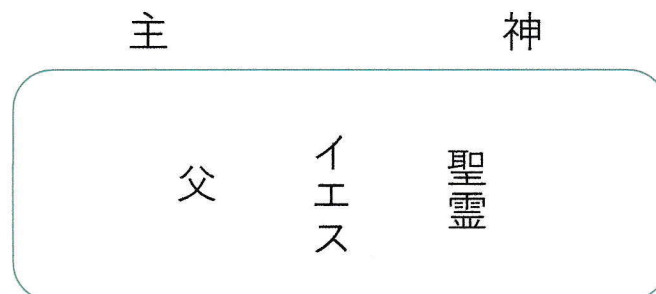
ヘブル語		ギリシヤ語	日本語訳
1. YHVH (YHWH)	→	キュリオス	→ 主
2. エル、エロアー、エロヒム	→	テオス	→ 神
3. アドン、アドナイ	→	デスポテス	→ 主

回答② 神を表す呼び方・三位

- 旧約聖書では、神の三位が暗示されています。
 - 創1：1 「神」
 - 創1：2 「神の霊」
 - 創1：26 「われわれ」
 - 創19：24 「**主**」と「天の**主**」
 - 創21：17 「神の使い」、創22：11 「**主**の使い」
- 新約聖書では、神の三位の呼称「父、子、聖霊」（マタイ28：19）が明らかにされています

回答② 神を表す呼び方・まとめ

- 質問の呼称について図示すると次のようになります。
- 子なる神の名・・・イエス、キリスト、ロゴスなど



質問③ 故人のためのとりなし

生前に信仰告白をせず亡くなった親族のために、執り成しの祈りをするについて、聖書はどのように教えているのでしょうか？

回答③ 故人のためのとりなし

- 肉体の死は、からだと靈魂の分離です。からだは土に帰り、靈魂は死後の世界に行きます。
- 死後の世界での行先は、その人が肉体にあって生きていたときに信者となっていたかどうかで変わります。
- あなたが故人を信者であったか否か、どう理解しているのかは、関係ありません。
- 故人のために執り成しの祈りをするようにとは、聖書は教えていません。
- 故人のことは神にゆだねましょう。神は、愛と義によって正しく扱ってくださるお方です。(聖書入門.com Q.209)

洗礼式の順序

1. 祈り
2. 賛美
3. 聖書朗読
 - Ⅰコリ15：1～8
 - テトス3：3～7
 - Ⅰヨハネ1：7～9
4. 証し文
5. 洗礼式

洗礼を受けるときの動作

- 洗礼槽の中に受洗者は入り、立ちます。
- 長老が傍らに立ち、受洗者にキリストの弟子として歩む意思を確認します。受洗者は、ひざを曲げて、洗礼槽の中に座ります。
- 長老は洗礼を受けることを宣言します。受洗者は鼻と口をハンカチで覆います。長老は受洗者の肩を支えながら、水の中に仰向けで浸けます。
- 1, 2, と数え、「3」で水から起き上がります。